

経 済 日 誌

(11 月 中)

- 1日 ○総務省、9月の労働力調査を発表
完全失業率（季調済前月比）は2.4%で前月比+0.2ポイント
雇用者数（原数値）は6,017万人で前年比51万人の増加
完全失業者数（同）は168万人で前年比6万人の増加、28か月連続で200万人を下回った
- 厚生労働省、9月の一般職業紹介状況を発表
有効求人倍率（季調済）は1.57倍となり、前月比△0.02ポイント、都道府県別の有効求人倍率（季調済）は36か月連続で受理地別・就業地別ともに、全都道府県で1倍を上回った
雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移している」とし据置き
- 自販連、10月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数（含む軽）は、31万4,784台で前年比△24.9%と4か月ぶりの減少
- 米労働省、10月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比12.8万人増、過去2か月分は修正（9月分は同18.0万人増に上方修正（+4.4万人）、8月分は同21.9万人増に上方修正（+5.1万人））
失業率は3.6%と前月（3.5%）から上昇
- 米供給管理協会、10月のISM景況指数（製造業）を発表
総合指数は48.3%と前月（47.8%）から上昇
- 5日 ○米商務省、9月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支（国際収支ベース）は△525億ドルとなり、前月（△550億ドル）から赤字額は縮小
- 7日 ○内閣府、令和元年第10回経済財政諮問会議を開催
議事：（1）金融政策、物価等に関する集中審議
（2）経済再生・財政健全化の一体的な推進強化②（社会資本整備）
- イングランド銀行（BOE）、金融政策委員会を開催し、政策金利の据置き、資産買入れ枠の現状維持を決定
- 8日 ○総務省、9月の家計調査（二人以上の世帯）を発表
実質消費支出は前年比+9.5%と10か月連続の増加、季調済前月比は+5.5%と2か月連続の増加（ともに、調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値）
基調判断は「駆け込みなどにより一時的に大きく増加している」とし表現を変更
- 厚生労働省、9月の毎月勤労統計（速報）を発表
現金給与総額（共通事業所系列）は前年比+0.6%（うち所定内給与は同+0.8%、所定外給与は同△1.9%、特別給与は同△2.4%）
- 内閣府、9月の景気動向指数（CI）（速報）を発表
先行指数は92.2（前月差+0.3ポイント）で2か月ぶりの上昇、一致指数は101.0（前月差+2.0ポイント）で2か月ぶりの上昇、運行指数は102.9（前月差△1.8ポイント）で4か月ぶりの低下、基調判断は「悪化を示している」とし据置き
- 中国海関総署、10月の貿易収支を発表
貿易収支は428億ドルと19か月連続の黒字、輸出は2,129億ドルで前年比△0.9%と3か月連続のマイナス、輸入は1,701億ドルで前年比△6.4%と6か月連続のマイナス
- 11日 ○財務省、9月の国際収支状況（速報）を発表
経常収支は1兆6,129億円、前年比△2,308億円（黒字幅縮小）で63か月連続の黒字
- 内閣府、9月の機械受注統計を発表
民需（除く船舶・電力）は季調済前月比△2.9%と3か月連続の減少
基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とし下方修正
- 東京商工リサーチ、10月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は780件（前年比+6.8%）と2か月連続の前年比プラス、負債総額は885億円（同△24.6%）、倒産企業の従業員数は3,440人（同△13.2%）、上場企業倒産は0件
- 内閣府、10月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差△10.0ポイントの36.7となり3か月ぶりの低下、先行き判断DIは前月差+6.8ポイントの43.7となり4か月ぶりの増加
景気現状の基調判断は「このところ回復に弱い動きがみられる。なお、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や台風19号等による影響が一部にみられる。先行きについては、海外情勢等に対する懸念もある一方、持ち直しへの期待がみられる」とし表現を変更
- 英政府統計局、2019年7-9月期GDP（速報）を発表
実質GDP成長率は前期比+0.3%、年率+1.2%
- 12日 ○日本銀行、10月のマネーストック（速報）を発表
M2は前年比+2.5%、M3は同+2.1%、広義流動性は同+2.1%
- 国土交通省、9月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年比+9.4%で7か月連続の増加
- 13日 ○日本銀行、10月の企業物価指数（速報）を発表
前年比△0.4%となり、5か月連続のマイナス
- 内閣府、令和元年第11回経済財政諮問会議を開催
議事：（1）消費税率引上げに伴う対応の進捗状況
（2）経済再生・財政健全化の一体的な推進強化③（地方行財政）
（3）経済再生・財政健全化の一体的な推進強化④（教育・科学技術）
- 米労働省、10月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+1.8%、前月比+0.4%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+2.3%、前月比+0.2%
- 14日 ○内閣府、2019年7-9月期のGDP（1次速報）を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比+0.1%（年率換算+0.2%）となり、4四半期連続のプラス成長
名目GDP成長率は、同+0.3%（年率換算+1.2%）となり、4四半期連続のプラス成長
GDPデフレーターは、同+0.2%となり2四半期ぶりのプラス、前年比は+1.2%と3四半期連続のプラス
- 独連邦統計局、2019年7-9月期GDP（速報）を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.1%、年率+0.3%
- 15日 ○東日本建設業保証会社等、10月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年比+5.1%で9か月連続のプラス

(11 月 中)

<p>○米商務省, 10月の小売売上高を発表 総合は季調済前月比+0.3% 自動車・同部品を除くと前月比+0.2%</p> <p>○米連邦準備制度理事会 (FRB), 10月の鉱工業生産を発表 生産は季調済前月比△0.8%, 過去2か月分は修正 (9月分は上方修正 (△0.4%→△0.3%), 8月分は 下方修正 (+0.8→+0.7))</p> <p>19日 ○国土交通省, 9月の建設総合統計を発表 公共工事出来高は前年比+7.0%で, 6か月連続の プラス</p> <p>20日 ○財務省, 10月の貿易統計 (速報) を発表 輸出は自動車, 原動機等が減少し, 前年比△9.2% の6兆5,774億円, 輸入は原油, 液化天然ガス等 が減少し, 同△14.8%の6兆5,601億円, 貿易収支 は+173億円で4か月ぶりの黒字</p> <p>22日 ○政府, 11月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は, 輸出を中心に弱さが長 引いているものの, 緩やかに回復している」とし据 置き</p> <p>○総務省, 10月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比+0.4%となり, 34か月連続 のプラス</p> <p>27日 ○内閣府, 令和元年第12回経済財政諮問会議を開催 議事: (1) 令和2年度予算編成の基本方針 (案) (2) 就職氷河期世代支援プログラムの実行に向け (3) 次世代型行政サービスの推進強化</p> <p>28日 ○経済産業省, 10月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比△7.1%で3か月ぶりの減少, 季調済前月比は△14.4%で3か月ぶりの減少 基調判断は「一進一退の小売業販売」とし下方修正</p> <p>29日 ○総務省, 10月の労働力調査を発表 完全失業率 (季調済前月比) は2.4%で前月比横ば い 雇業者数 (原数値) は6,046万人で前年比50万人の 増加</p>	<p>完全失業者数 (同) は164万人で前年比1万人の増 加, 29か月連続で200万人を下回った</p> <p>○厚生労働省, 10月の一般職業紹介状況を発表 有効求人倍率 (季調済) は1.57倍となり, 前月比横 ばい, 都道府県別の有効求人倍率 (季調済) は37か 月連続で受理地別・就業地別ともに, 全都道府県で 1倍を上回った 雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中, 求人 が求職を大幅に上回って推移している」とし据置き</p> <p>○経済産業省, 10月の鉱工業指数 (速報) を発表 生産は季調済前月比△4.2%, 出荷は同△4.3%, 在 庫は同+1.2% 基調判断は「生産は弱含み」とし下方修正</p> <p>○国土交通省, 10月の建築着工統計調査を発表 住宅着工総戸数 (原数値) は, 77,123戸 (前年比△ 7.4%) と4か月連続の減少, 季調済年率は87.9万 戸 (前月比△2.0%) と2か月ぶりの減少</p> <p>30日 ○中国国家统计局, 11月の製造業PMI (購買部担当者 指数) を発表 総合指数は50.2ポイントと前月 (49.3ポイント) から 上昇, 景気の拡大・縮小の分岐点である50を7か 月ぶりで上回った</p> <p>東証株価指数 (TOPIX) 第1部 (終値) 月間最高値 1,710.98 (27日) ※ 最安値 1,666.50 (1日)</p> <p>日経平均株価 (終値) 月間最高値 23,520.01円 (12日) ※ 最安値 22,850.77円 (1日)</p> <p>東京外為市場 (ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点) 月間最高値 107.96円 (1日) ※ 最安値 109.50円 (29日)</p>
---	---